

科目名	初等家庭Ⅰ			担当教員	本多 恭子、日比 純子	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2SRE214	
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験	教諭(講師を含む)					
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を生かし、家庭科教育の意義や指導方法について講義する。					
到達目標及びテーマ	実践的・体験的授業を通じて、家庭と家庭の役割、衣、食、に関する基礎的な知識と技術を身に付け、子どもたちに実践的・体験的な授業が展開できるようにする。また、家庭に関わる社会の問題にも関心を持って関わるような姿勢を育てる。そして、家族の一員として、生活をより良くするにはどのようにすればよいか、さらに実際にそれを実践する姿勢を身につけ、子どもたちに教えられるようにする。					
授業の概要	学習指導要領を基に、家庭科の目標・内容を理解する。その上で、家庭生活を営むために必要な知識、技能を被服製作・調理実習など実践的活動を通じて身に付ける。また、家庭や家族の変化に伴い発生している家庭生活を取り巻く今日的な課題を知り、教員としてどのように関わっていけばよいか学び、考え、発表する場を設ける。					

授業計画	
第1回	学習指導要領解説書「家庭科」の黙唱・内容（本多） 事前準備：学習指導要領を読んてくる。 事後学修：「家庭科の目標」について復習し、要点についてまとめる。
第2回	食事の整え方、調理の基礎（本多） 事前準備：家にある調理器具を調べる。事後学修：授業内で指示された課題について行う。
第3回	米飯・みそ汁の調理（本多） 事前準備：指示された教科書の内容について読んでおく。事後学修：調理手順や実施後の気づきについてまとめる。
第4回	我が家の自慢のみそ汁、米飯の調理の応用（本多） 事前準備：我が家のみそ汁の種類について調べる。事後学修：各自で米飯、みそ汁の調理をし、調理手順とその意義をまとめる。
第5回	食事を楽しくする工夫（おやつ作り）（本多） 事前準備：小学校で作ることができるお菓子づくりについて調べる。事後学修：授業内で指示された課題を行う。
第6回	食事を楽しくする工夫（行事食）（本多） 事前準備：行事食の種類と役割について調べる。事後学修：食事が果たす役割についてまとめる。
第7回	一食の整え方（献立作成）（本多） 事前準備：「一食の整え方」について該当する教科書の内容を読んてくる。事後学修：献立内容について修正を行う。
第8回	一食の整え方（調理実践）（本多） 事前準備：献立表に書かれた材料を用意する。事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。
第9回	年間指導計画の作成と題材構成の仕方（日比） 事前準備：学習指導要領を読んてくる。事後学修：指導計画作成上の配慮事項を復習し、要点をまとめる。
第10回	生活に役立つものの製作と教材研究（指導計画作り）（日比） 事前準備：教科書を読み、基礎縫いの方法について調べてくる。事後学修：基礎縫いの練習をする。
第11回	生活に役立つものの製作と教材研究（製作Ⅰ）（日比） 事前準備：教科書を読み、ミシンの使い方について調べてくる。事後学修：製作中の安全指導の内容についてまとめる。
第12回	生活に役立つものの製作と教材研究（製作Ⅱ）（日比） 事前準備：教科書等で製作の手順や方法を確認しておく。事後学修：製作中の安全指導の内容についてまとめる。
第13回	学習指導案の作成（快適な衣服と住まい）（日比） 事前準備：快適な衣服と住まいに関する学習指導案の内容を考えてくる。事後学修：学習指導案の修正を行う。
第14回	学習指導案の作成（身近な消費生活と環境）（日比） 事前準備：身近な消費生活と関する学習指導案の内容を考えてくる。事後学修：指導案の修正を行う。
第15回	模擬授業のための指導案作成（日比） 事前準備：模擬授業に必要な教材を準備する。事後学修：授業内に指示された課題についてまとめる。

事前学修	0.5時間	①学習指導要領 家庭科の目標・内容を読む ②教科書の該当内容を読んておく
------	-------	--------------------------------------

事後学修	0.5時間	「家庭生活をよりよく営む」ために、必要な知識・技能をまとめる。また、授業での教材の活かし方について考察をする。
フィードバックの方法	レポートを授業内に返却し、個別にコメントする他、総合評価を説明する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
レポート		40%	授業の実施内容が整理され、「学習のめあて」とその具体的内容が的確であるかを評価する。
上記以外の試験・平常点評価		60%	授業態度や意欲、作品の評価。
補足事項	被服製作及び食物調理実習に関わる実習費を集めます。 担当教員の都合により、授業内容が入れ替わる場合があります。		

教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
わたしたち家庭科	５・６	文部科学省検定教科書	開隆堂	978-4-304-08086-9	なし
参考資料	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編				

科目名	初等家庭Ⅱ			担当教員	本多 恭子	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED2SRE215
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	初等家庭Ⅰで身に付けた基礎的な知識と技術を活かし、生活の中で具体的にどのように活かすかについて考える。引き続き、家庭生活に関わる社会の問題にも関心を持つ姿勢を、具体的に現在発生している問題・課題の解決策を考える中で育てる。そして、家族の一員として、生活をより良くするにはどのようにすればよいか、実践することで子どもたちに教えられるようにすることができる。					
授業の概要	衣食住に関する基礎的内容を深め、家庭生活を営む上での必要な知識・技能を習得し活用する。具体的に一食を整える献立作成や実習、生活に役立つ小物製作なども行う。また、学生自ら家庭や家族の変化に伴い発生している今日的課題を探り、問題の原点、自分の関わり方について考察する。					

授業計画	
第1回	生きる力と生活の関わり 事前準備：「生きる力とは」について調べる。 事後学修：家庭科を通じて育てる力について考察する
第2回	食生活の今日的問題とは 事前準備：食をめぐる問題点を書き出してくる。 事後学修：食をめぐる問題点、解決策をまとめる。
第3回	米飯・みそ汁・副菜作りの指導の観点 事前準備：米飯・みそ汁に関する教科書にある内容を良く読んでおく。 事後学修：指導の観点についてまとめる。
第4回	米飯・みそ汁・副菜作り 事前準備：事前に指示された献立について調理方法を理解しておく。 事後学修：授業後の気づきについてまとめる。
第5回	家族と楽しむ食事作り（軽食づくり） 事前準備：事前に指示された献立について調理方法を理解しておく。 事後学修：授業後の気づきについてにまとめる。
第6回	生活を豊かにする食事づくり（行事食） 事前準備：身近な行事食を調べてくる。 事後学修：行事食の意義について考察する。
第7回	生活を豊かにする食事づくり（間食づくり） 事前準備：家庭での団らん時に適したお菓子や飲み物を調べてくる。 事後学修：間食の意義について考察する。
第8回	生活を豊かにする食事づくり（日本茶を淹れる）事前準備：日本茶の淹れ方について調べる 事後学修：家族と団らんするための工夫と意義についてまとめる。
第9回	食生活の振り返りと改善方法について（レポート発表） 事前準備：食生活（生活リズムや内容）を振り返り、その内容をまとめる。 事後学修：食生活の改善や今後実践していきたいことをまとめる。
第10回	住まい方の工夫について 事前準備：配布された資料に目を通しておく。 事後学修：快適な住まいの方法についてまとめる。
第11回	被服の手入れと被服生活の振り返り 事前準備：被服管理の要点についてまとめてくる。 事後学修：自身の被服生活を振り返り、まとめる。
第12回	役に立つ小物の作成（計画） 事前準備：作成計画を考える。 事後学修：本時の作成についての感想をまとめ、次回に向け作成計画を考える。
第13回	役に立つ小物の作成（実施） 事前準備：作成方法を理解しておく。 事後学修：作成について感想をまとめる。
第14回	役に立つ小物の作成（評価） 事前準備：作品を仕上げ、作成方法などをまとめる。 事後学修：作品の評価方法をまとめる
第15回	まとめ 事前準備：これまで学習した内容について教科書を読み復習しておく。 事後学修：授業内で具体的に指示された課題を行う。

事前学修		子どもの興味・関心を喚起し、実践しようとする姿勢を育てる教材について考察をする
事後学修		子どもたちの実践力を向上させる「教材」のあり方、活かし方・授業展開について考察をする。
フィードバックの方法	レポートを授業内に返却し、個別にコメントする他、総合評価を説明する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
--------	-------	-------

定期試験		0%	実施しない
レポート		50%	授業の実施内容が整理され、「学習のめあて」とその具体的内容が的確であるかを評価する。
上記以外の試験・平常点評価		50%	授業への態度、意欲、作品について評価する。
補足事項	食物調理実習及び被服製作に関わる材料費を集めます。 実施の都合上、授業内容が入れ替わる場合があります。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
わたしたちの家庭科５・６	文部科学省検定教科書	開隆堂	978-4-304-08086-9	なし
参考資料	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編			